

掲載日：平成 25 年 5 月 17 日



南相馬ボランティア活動

第二期ボランティア活動はO(オー)隊長率いる 6 名で活動しました。万全の態勢で取組む為、福島駅前のホテルに前泊！！翌朝 6 時にホテルを出発した。カーナビをセットし全員気合い十分で出発、南相馬市までの道のりは険しく、細い山道で急カーブの連続、そんな中検問に出くわした。道を間違えた！「警備員さんに国道 12 号を進んで下さい」と教えてもらいナビを再登録し急いで来た道を戻り、ようやく 12 号を見つけた。集合時間に間に合わない、、アクセル全開。そんな中 S さんが車酔いでゲーして小休憩。いよいよ本当に間に合わない。ボランティアセンターに一報入れる為連絡した、痛恨の一言「ナビなんか役に立たないよ！地図みて来て。」原発 20 km 付近ではナビは役に立たないことが分かった（反省）。9 時過ぎにようやく到着、遅刻でした。

その日の活動はボランティアセンター近隣の民家の田畑に生い茂っている草刈と、竹の伐採、枝の切り落としでした。草刈は草刈り機、枝の切り落としはチェーンソーを使うので作業前に入念な操作説明がありましたが、印象に残っているのは「この機械で足の指を切り落とした、刃物のチップが頬を貫通した・股に刺さった、手を切断した、首を切った。」と強烈な話ばかりです。竹の伐採は、のこぎり、なた、斧を使って作業しました。今回我々もその恐ろしい恐怖体験の仲間入りする事件がありました。伐採した竹の枝を切り落とす際に小さな斧を使ったのだが、何度も振りおろしている間に急に斧が軽くなったので「あれ？」と思い斧を見たら柄しかない！足もとを見たら長靴の横 5 cm の所に斧が突き刺さっていた。血の気が引いた。皆様も作業前には道具の点検を必ず行って下さい。車酔いでダウンしていた S さんの仕事ぶりに皆感激！！

スズメバチ、トカゲ、その他何が潜んでいるか分からない竹やぶに突撃、誰よりも多く竹を伐採していた。凄すぎる！！と頑張り過ぎて今度は熱中症、、少し休憩して戻ってきた時には地元の方と勘違いするほど現地に溶け込んで作業していた。



頑張ったよ～



こんなに刈りました



O隊長 竹の伐採中

